

生駒市商工観光ビジョン懇話会 第1回商業・観光分科会

今後の方向性の検討に関する論点

平成28年10月18日

商業・観光分科会

商業・観光

論点1. 中心商業集積地(生駒駅周辺)はどうあるべきか？

論点2. 市内全域で、がんばる個店を応援するには何が必要か？

論点3. 観光を通じて、経済効果にどう結びつけるか？

論点4. 観光のにぎわい拠点をいかにつくるか？

工業分科会

工業

論点1. けいはんな学研都市や東大阪市の産業集積を活かしてどのようにイノベーションを興すか？

論点2. 製造業の人材確保を図るためには何が必要か？

論点3. 支援情報を的確に伝えるにはどうすればよいか？

論点4. 企業の誘致を進めるためには何が必要か？

創業

論点5. 起業家支援において誰を重点に取り組むのか？

産業教育

論点6. 次世代における産業の発展に向けて、教育との連携をどうしていくか？

6次産業化

論点7. 生駒の地場農産品をどのように活用できるか？

論点1. 中心商業集積地(生駒駅周辺)はどうあるべきか？

(取り上げる理由)

- ・商店街ですべての買い物が完結しない
- ・近隣には食品スーパーが立地
- ・立地業種をコントロールできるのか、誰がするのか

(方向性の考え方案)

○にぎわいの創出(=集客数の増加)を目指す

例:100円商店街、バルなどの継続、宝山寺参道での観光地域づくりと連携

論点2. 市内全域で、がんばる個店を応援するには何が必要か？

(取り上げる理由)

- ・交通環境や立地環境が大きく変化し、個店努力だけでは及ばないところもある
- ・高齢化が進み、後継者がいない店舗が増加
- ・食品スーパーやコンビニになじみ、個店を利用したことがない消費者も増加

(方向性の考え方案)

○商品に対する専門知識がある店主や、目利きされた商品を知ってもらうことを目指す

例:店主に焦点を当てた情報発信、創業支援と結びつける(事業継承)

論点3. 観光を通じて、経済効果にどう結びつけるか？

(取り上げる理由)

- ・なぜ生駒で観光に取り組むのか、産業振興の視点からの位置づけが必要
- ・観光客が増加したとしても、現在のままでは経済的効果をもたらす仕掛けが無い

(方向性の考え方案)

○市内事業者の売上に効果をもたらすような観光振興を目指す

例:食や土産物のブランディング、伝統産業の活用(高山茶釜と「お茶の京都」の連携)

論点4. 観光のにぎわい拠点をいかにつくるか？

(取り上げる理由)

- ・宝山寺参道で新たな地域づくりの動きが生まれてきた
- ・眺望も楽しめる人気の飲食店が増えてきた
- ・「生駒山」がシンボルであり、地域の魅力資源

(方向性の考え方案)

○宝山寺参道エリアの再生・創造を目指す

例:出店しやすい仕組みづくり

けいはんな学研都市からの誘客

論点5. 起業家支援において誰を重点に取り組むのか？

(取り上げる理由)

- ・女性の就業率は全国的に見ても低い
- ・キャリアを持つ女性の中で働きたいという潜在的ニーズは高いと思われる
- ・けいはんな学研都市だからこそ女性研究者に住んでもらい、新たに事業を起こしてほしい

(方向性の考え方案)

- 女性起業家を重点的に支援することを目指す
例:事業ステップに応じた支援メニューの提供

論点6. 次世代における産業の発展に向けて、教育との連携をどうしていくか？

(取り上げる理由)

- ・住みたいまちとして全国トップクラス
- ・「住む」だけでなく、「働く」ことを学べる環境にすることが大事
- ・将来の起業家輩出につなげる息の長い取り組みが必要

(方向性の考え方案)

- 生駒の子どもたちがあらゆる産業に触れて、学べるまちを目指す
例:工場や研究開発施設の見学、インターンシップ

論点7. 生駒の地場農産品をどのように活用できるか？

(取り上げる理由)

- ・農地を守るためにも、付加価値の高い商品づくりによって農家のやる気を高めることが必要
- ・耕作放棄地の増加がまちの美観も損ね、住みよいまちとしての評価を下げてしまう恐れ
- ・その土地ならではの美味しい食は、集客にも結びつく

(方向性の考え方案)

- 農業者と飲食店や食品製造業との出会いの場づくりによって6次産業化の振興を目指す
例: たつた揚げプロジェクトを活かしたメニュー開発